

# わーくわく



働き続けるを応援しよう!!

第5号

一般社団法人わーくわくねっと  
就労移行支援事業所・就労定着支援事業所  
キャリアサポートセンター姫路  
〒670-0962  
姫路市南駅前町82 南極ビル2F  
Tel/Fax 079-282-6130  
HP <https://workwakunet.com/>  
発行 2020年3月1日

2020年、鳴り物入りで日本が開催国に指名された東京オリンピック。いよいよその年がきました。

が、アメリカがイランの高官をドローンで爆破死させたニュースが飛び込んで、一瞬「私達が今、生きている時代ってひょっとして戦争真っ只中？」と錯覚をおこしそうになりました。でも日本の油の80%強をこの中東地域から輸入しており、ペルシア湾が封鎖されると、たちまち日本は第一次、第二次オイルショックのようなパニックに陥ります。薄氷のような安心神話に委ねて生きている事、意識せざるを得ません。

先日も、NPO法人姫路市精神保健福祉連合会（ひめかれん）の松尾理事長、三木副理事長とこんなことを話し合いました。「我々が、子育て真っ最中の時は、日本の経済は、ものすごい勢いで右肩上がり。欧米を追い越せ追い抜けて、会社の技術刷新、利益をあげるためなら、家族や子供よりも会社のためにと残業代が付かなくても必死で働いてきたもんだ。それが韓国や中国が台頭し、日本の立場が逆転し、追い越される立場になった時、日本が目指すモデルとなるものが見えなくなり、会社存続のため利益追求のみに偏って、現場で働いている人たちの気持ちや考え、体調等がおざなりになってしまった。こんな社会全体の歪みや偏重が、家族を養うためにと一生懸命仕事をしているお父さん、お母さんの心を苦しめ、圧迫していったんちがうやろかなあ。」と。

私が思うには、親たちの言葉に出さずとも身体から発しているものを純粹で感受性が強いがためキャッチし、子供であるがゆえに、それを理解できる言葉にできず、感じるこの苦しみの意味もわからず、その重荷から心のバランスを崩してしまったのが心の病を患った方達ではないでしょうか。「いのち」が存続するために、「このままでは危ないよ!!」と警鐘を鳴らすカナリヤだったのではと思えて仕方がないのです。

私は、心を病んだ人たちが決して“社会の厄介者”ではないと思うのです。彼らの衝動的な行動、意味不明な言葉を発せざるを得ない根っこの思いを汲み取ることがこれからの日本の進むべき道のかすかな光になるような気がしてなりません。

2020年を迎え、よりはっきりと思います。お一人でも「本当にそうやな！なんか訳の分からん事言うてるみたいやけど、素直やなあ、純粹やな！と感じることあるわ。」と賛同していただける方がおられると嬉しいし、彼らの秘めた力を自らが引き出せるためのサポートに気付いた方から共にやっていきたいと願っています。

就労移行支援事業所の巻頭文にふさわしくないと思いましたが、どんな存在も意味がない“いのち”はないと信じているので、思いのままを書かせていただきました。

本年もご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

理事長 濱中 美喜子

人間が持つ力の中で最も大きな力は、「具現する力」、すなわち自分の内にある希望や目標を具体的に形にしていける力です。

私たちは、より豊かな社会の実現のために長い時間を費やし、制度を整え、技術を発展させ、現在の生活を享受しています。人は自ずと、希望や目標を抱き、それを実現しようとします。

しかし、いざ、目標を持った時（持ったからこそ）目の前には、越えなければならないハードルが現れます。そして、そのハードルを越えがたいと思った時、あなたは、同じ目標を持つ仲間と、目標に導くシステムの中に身を置くべきです。

キャリアサポートセンター姫路には、一般就労を目指す仲間と“働き続ける”を応援するスタッフがいます。私たちは、社会参画と自己実現の支援・自己研鑽・社会貢献を大切にしています。一般就労を目指したいと思う方、弊所に関心を持った方は、是非見学・体験にいらしてください！

サービス管理責任者 小林 美穂子

# チャリティゴルフ



2019年6月、龍野クラシックゴルフ倶楽部にて『姫路こころの障害者自立支援チャリティゴルフ大会』を開催していただきました。播磨地域の企業様や医療福祉関係者様に多数ご参加・ご支援賜り、11回目を迎える事が出来ました。

紙面を借りましてお礼を申し上げますとともに、今後も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 当事者発表

弊所の訓練を経て就職された卒業生が、自身の就職までの歩みについて発表されました。

2019年3月より就労を開始し、現在は職場の方々にも恵まれ、充実した社会生活を送られています。



## ご支援ありがとうございます ～企業様からの声～

弊社は「お客様に満足していただける品質づくり」をスローガンとし、色彩科学を通じて社会に貢献し、「安全を最優先させる」、「資源を大切に作る」、「地域社会に迷惑をかけない」の言葉を胸に環境との共生を図り、社会的責任を果たし豊かな社会の実現に貢献してまいります。

私どもとキャリアサポートセンター姫路との関わりは、企業の社会的責任の一つである障害者雇用に取り組んでいる時期に、ハローワークの方から訓練生（Kさん）をご紹介頂いた頃だと覚えています。弊社はこれまで、知的障害をお持ちの方の雇用実績がなく、また知的障害の方々にとってのノウハウを持っていなかったため、雇用には至っておりませんでした。障害者雇用の法定雇用率が引き上がり、弊社も障害を持った方々の雇用確保のために苦労していたところにKさんをご紹介頂きました。

Kさんの面接を行った際、しっかりと受け答えをされ、コミュニケーション能力に何ら問題無いと感じました。また、入社後の仕事に対する姿勢も立派でしっかりメモをとり、自分に託された仕事は最後までやり抜く姿は私自身も大変勉強になり感心させられています。さらに、職場で一緒に働く仲間は親よりも年上の世代が多く、上手く溶け込めるか不安がありました。が、仲間の皆様もKさんを自分の子供の様に可愛がっている様子を見て、働く環境にも問題無いと感じる事が出来ました。

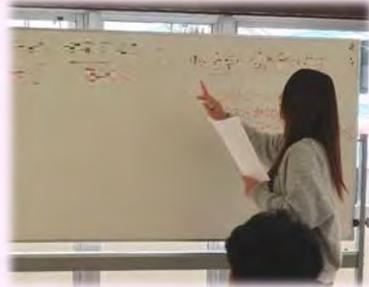
これからKさんは、社会の厳しさ、世間の厳しさを感じるようになるかと思いますが、一つ一つ壁を乗り越えながら強くなってほしいと願っております。

## 山陽色素株式会社

- 本社：兵庫県姫路市延末81番地
- 設立：1931年（昭和6年）
- 事業内容：有機顔料、加工顔料、機能性顔料の製造・販売
- 代表者：取締役会長兼社長 齋木 俊治郎
- 資本金：9100万円
- 従業員数：383名（2020年3月1日現在）  
国内／2工場、2営業所  
海外／現地法人1社



## 就労プログラム



弊所では『就労プログラム』と題して、面接の練習やビジネスマナー等の他、外部講師にスーツの着こなし方を教えていただく等、就労に備えたプログラムを行っております。また、2019年よりENDCOREモデルを元にコミュニケーションスキルを具体的に示し、苦手とすることや得意なことの自己理解やその点を伸ばすことを目的にアナログゲームを使ったプログラムや、実生活の感情を上手く処理できるよう心理トレーニングにも力を入れています。

## グループ実習

特性や得手・不得手、マッチしやすい環境等の自己理解を図ると共に、訓練生・支援者相互に理解を深めるため、グループ実習を行っています。工場内の軽作業や店舗内での作業等、様々な現場で実際の仕事の一部を体験させていただいています。また2018年度より「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律（平成24年法律第50号）」に基づき、姫路市より清掃業務の委託を受け、公園のトイレ清掃の仕事をしています。



## 単独実習風景

工場内での作業をさせて頂いて、今まで経験のない8時間の労働や仕事場の空気に慣れることができました。自分の能力が上がっていることも感じられ、周りの方の優しさもあり無事自習を終えることができました。

訓練生 H.Jさん感想



商品陳列作業



清掃



クリーニング業務



調理補助業務

初めての単独実習でしたが、従業員の皆さんに優しく指導して頂いたので、大きな問題なく終わることができました。また、わからないことも毎回丁寧に教えて頂き、良い経験になりました。

訓練生 MIさん感想



防災訓練



収穫体験



普通救命講



元気UP運動会



訓練・就労プログラムの他にも、社会性の向上や地域社会作業との交流を目的とし、様々なイベントへの参加や取り組みを行っています。

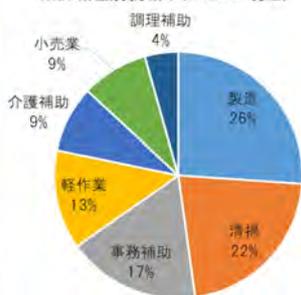
## 就職実績報告

2019年度は、5名の方が  
就職されました！

今後も、ご本人の希望と  
適性・適職に合った仕事に  
就けるよう訓練生と共に  
頑張っていきます。



累計職種別就職率(2020.3現在)



業種(職種)	就労開始日
製造業(製造補助)	2019年4月～
総合小売業(品出し)	2019年4月～
製造業(軽作業・清掃)	2019年8月～
小売業(清掃・品出し)	2019年9月～
給食業(盛付・清掃)	2019年11年～



2019年9月、弊所初となる『卒業生との交流会』『卒業生懇親会』が開催されました。

交流会では、就職された先輩方とともに、自己紹介やコミュニケーションゲーム、仕事の様子についての質問タイムなど、賑やかな時間を過ごす事が出来ました。訓練生の皆さんも、先輩方から直接お話を聞き、就職へのモチベーションがアップしたのではないのでしょうか。

また、懇親会では、卒業生同士で軽食を囲みながら、仕事の情報交換や訓練の思い出話に花を咲かせました。「職場以外の人と話すのは久しぶりで、良い刺激になった」との感想もあり、新たな人間関係を作るきっかけの場として楽しんで頂けたようです。

今後も定期的開催し、訓練生・卒業生ともに学び楽しめる機会を作っていきたいと思えます。

交流会の様子



第1回

卒業生との交流会  
& 懇親会